

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【公表番号】特表 2005-517444 (P2005-517444A)

【公表日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2005-023

【出願番号】特願 2003-569835 (P2003-569835)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**B 0 1 J 3/00 (2006.01)**

**C 1 2 P 19/34 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

B 0 1 J 3/00 A

B 0 1 J 3/00 J

C 1 2 P 19/34 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 28 日 (2005.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

i) 通常の圧力下で微生物を溶解して、綿状沈殿が溶解物中に形成され、

ii) 溶解物を取り巻く雰囲気圧力を通常の圧力と比較して低下または上昇させることによって、溶解物中の綿状沈殿を相分離し、高度に圧縮された沈殿相および液相が溶解物中に形成され、

iii) 上記 2 つの相を分離する

ことを特徴とする、微生物由来の細胞溶解物を粗清澄化する方法。

【請求項 2】

微生物がグラム陽性またはグラム陰性細菌である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

溶解物を取り巻く雰囲気圧力が通常の圧力より 200 から 1000 m b a r 低い水準に調節される、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

溶解物を取り巻く雰囲気圧力が通常の圧力より 300 から 800 m b a r 低い水準に調節される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

溶解物を取り巻く雰囲気圧力が通常の圧力より 200 から 5000 m b a r 高い水準に調節される、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 6】

溶解物を取り巻く雰囲気圧力が通常の圧力より 500 から 2500 m b a r 高い水準に調節される、請求項 5 に記載の方法。